

6花議第39号
令和6年7月4日

花巻市長 上田 東 一 様

花巻市議会議長 藤原 伸



政策提言書の提出について

このことについて、市政の発展を図るため、所管の常任委員会が取りまとめた下記の政策提言書を別添のとおり提出します。

この政策が速やかに実現されるよう、最大限の努力を期待します。

記

- ・ 持続可能な公共交通の確保に関する政策提言書 産業建設常任委員会

持続可能な公共交通の確保に関する政策提言書

令和6年7月 花巻市議会産業建設常任委員会

1 検討テーマ

持続可能な公共交通の確保対策について

2 解決すべき事項

(1) 現状

花巻市では、平成26年から令和5年までを期間とする「花巻市公共交通計画」並びに平成29年から令和5年までの「花巻市公共交通網形成計画」に基づき、市民の移動手段を確保するため市内循環バスや湯口地区予約乗合タクシー、西南地域、大迫、石鳥谷、東和地域における予約乗合バスの運行、交通事業者への補助等を行い路線の維持などに取り組んできた。

これらの計画が終了するにあたり令和6年から新たな公共交通計画の策定に取り組み、現状把握と課題の解消を図るとともに、残存する交通空白地域の解消など持続可能な公共交通サービスの提供を目指すこととしている。

JR釜石線については、2022年度の輸送密度（1日1キロ当たりの利用者）が少なく赤字額を多い路線として公表された。直ちに廃止というものではないが利用促進が欠かせず、沿線自治体首長会議が組織され、要望活動等が行われた。

(2) これまでの取組（花巻市の公共交通政策）

- ◇市街地循環バス◇大迫・花巻地域間連絡バス◇県立中部病院連絡バス
- ◇予約応答型乗合交通◇岩手医大付属病院連絡バス◇広域生活路線バス等補助
- ◇岩手医大付属病院利用者連絡バス◇土沢線◇定期券購入補助（大迫石鳥谷線）
- ◇JR釜石線存続要望（岩手県、岩手県選出国會議員など）

(3) 取組に対する評価（成果指標から）

① まちづくり市民アンケート

- ・公共交通を利用できる市民の割合

令和4年度目標値＝79.0% 実績値＝70.8%（未達成）

- | | | |
|-------------------|---------|-------------------|
| 令和5年度 | = 80.0% | 実績値 (未集計) |
| ・公共交通に満足している市民の割合 | | |
| 令和4年度目標値 | = 49.0% | 実績値 = 40.1% (未達成) |
| 令和5年度 | = 50.0% | 実績値 (未集計) |

② 令和5年までの計画の進捗状況 (公共交通担当部署の調査)

- ・予約応答型乗合交通の利用者数 (令和4年度末)
当初策定10,132人 最終目標27,800人 現時点16,278人
達成状況 = 未達成
- ・市街地循環バスの利用者数
当初策定51,645人 最終目標78,000人 現時点84,391人
達成状況 = 達成

3 提言する政策

(1) 概要

花巻市の公共交通確保対策事業では、市街地循環バスや予約応答型交通、バス事業者への支援による路線バス確保、地域間連絡バスの運行等が進められてきたが、市街地循環バスを除き利用者数の伸びに課題が見られること、運行形態と利用者ニーズとにズレが見られることなどが見受けられることから、次の点について改善を図る必要がある。

- ① 路線バス運行と利用者のニーズがあっていない
- ② 交通事業者と行政との意見交換の場が少ない
- ③ JR釜石線の利用促進 (利用しなければ廃線は避けられない危機感)
- ④ 市街地循環バスの運行ルートの拡大
- ⑤ 地域の事情に合わないデマンド交通
- ⑥ 過疎地の交通の足の確保

(2) 具体的施策

上記(1)の課題を解決し持続可能な公共交通を確保するため、次の施策について検討すべきである。

① 路線バス利用者のアンケート調査

路線バスの事業者と利用者双方の課題を共有し、利用者ニーズに合った運行に近づける

② 交通事業者との意見交換

行政とバス及びタクシー事業者とが定期的に協議の場をつくり、現状と課題を共有しながら具体的な取り組みを構築する

- ・ 運転手確保と乗務員の支援 2種免許取得助成 乗務員住居支援など
- ・ 運行補助金の支援 バス・タクシー事業者、利用者、行政側それぞれに協議する場を定期的に設け、助成金の増額・減額を含めて見直し等を検討する
- ・ MaaS（マース^{*1}）の調査研究（移動サービスの最適化）

③ 公共交通の日の設定

エコ通勤も視野に、毎月1回など事業所の形態に合わせた公共交通の日を設定し、利用者数の拡大を図る

J R 釜石線利用の日の設定

④ 地域（コミュニティ地区）にふさわしい公共交通の検討

公共交通が利用しにくい地域における交通の足を確保するため、必要とする地域内で話し合いを促進するとともに、行政と一緒に互助輸送について研究し導入を検討する

コミュニティ地区ごとに、公共交通をテーマに現状を認識、課題解決に向けて理解を深める（どのような利用が良いのか合意形成を図る）

⑤ J R 釜石線の利用促進

J R 釜石線の利用を促進するため、次の事業について導入を検討する

- ・ 沿線で広域連携イベントを展開する（三鉄の先進事例等の導入と連携）
- ・ 小中学校での遠足等に釜石線の利用を取り入れる
- ・ 快速ダイヤを土日のイベントに合わせて停車駅を設定する（滝観洞）
- ・ J R 釜石線利用の日の設定（再掲）

4 調査及び検討の経過

（1）検討テーマ設定の動機

所管部署である農林、商工観光、建設それぞれの主要施策について調査・聴き取りを行い、このうち令和6年から新たにスタートする花巻市地域公共交通計画について理解を深めることとした。さらに、コロナ禍により事業者が抱える課題解決なしに市民の交通の足の確保は困難との認識に立ち、持続可能な公共交通の確保について調査研究を行うこととした。

(2) 所管事務調査の状況

期日	内容	備考
R4.10.4	建設部から現状及び課題を聴取	
R5.1.24	建設部から J R 釜石線の利用状況等を聴取	
R5.4.27	議会報告会（2月2日～4日開催）での意見把握 ・公共交通の在り方への意見 ① タクシーの助成拡大 ② JR 釜石線の存続 ③ デマンドタクシーの利用エリアと日数の拡大	
R5.10.17	公共交通確保対策についての行政視察の振り返り 及び花巻市の現状と課題を協議ほか	
R5.11.22	建設部から新たな公共交通基本計画案を聴取 政策提言に向けた協議（前回の検討事項を深堀）	

(3) 先進地視察の状況

令和5年7月、富山県射水市の公共交通政策について視察。

同市の地形的条件は当市と違い平地がほとんどであり、コミュニティバスと路線バスの連携が図られている。高齢者の運転免許証返納にかかる支援として、コミュニティバス無料乗車券を発行しており、運転免許証返納者へしっかり対応している。

広域移動軸の鉄道では「あいの風とやま鉄道」「万葉線」がある。このうち第3セクターで運営する万葉線は、高岡市と射水市を結ぶ路線であり、両市と三セクの3者で利用促進を図るため「万葉線を愛する会」を立ち上げ、会員対象のイベントを開催するなど利用者拡大に成果を上げている。

(4) 政策の検討状況

期日	内容	備考
R5.12.25	市民説明会における出席者の意見整理と共有	
R6.2.20	政策提言の方針を共有	
R6.4.26	委員間自由討議(ワークショップにより公共交通の現状と課題を共有)	

R6.5.10	委員間自由討議(ワークショップにより課題の解決策を探る)	
R6.5.21	委員間自由討議(ワークショップにより解決策と具体的事業を探る)	
R6.5.31	政策提言(案)を協議	
R6.6.7	建設部と意見交換(政策提言事項について協議)	
R6.6.20	政策提言(案)を協議(市議会議員全員協議会への提案に向けて)	
R6.6.25	市議会議員全員協議会へ提案・審議	

(5) 意見聴取とその反映

① 公共交通関係情報収集等

期日	内容	備考
R5.11.15	北上花巻市議会議員研修会 公共交通について研修	
R5.12.15	公共交通住民説明会各会場へ出席 利用者の意見把握	
R6.4.3	花巻地区タクシー業協同組合役員と意見交換 課題把握 ・コロナ禍の影響による利用者減少 ・運転手不足 ・デマンドタクシーの課題など	

② 政策提言に向けて取り組んだこと

- ・所管事務調査により公共交通担当部から実施状況及び課題、今後の取り組み等について状況把握に努めた
- ・令和6年から始まる新たな公共交通計画の策定について市が主催する市民説明会に参加出席し、地域住民や利用者の意見把握に努めた
- ・先進事例を把握するため、富山県射水市を視察した
- ・花巻地区タクシー業協同組合の役員と意見交換を行い、現状と課題の把握に努めた
- ・上記の取り組みを通じて、委員会でワークショップを開催し、現状と課題、解決すべき事項等について討議、提言すべき事項について合意形成を図った

以上の経過により、持続可能な公共交通の確保対策について提言します。

5 添付資料

- (1) ワークショップで抽出した課題、解決策、具体的取り組み（一覧表）
- (2) 活動の記録（写真）
 - ① 富山県射水市へ行政視察
 - ② 花巻地区タクシー業協同組合との意見交換
 - ③ 産業建設常任委員会で実施したワークショップ
- (3) 解説

※1 : MaaS（マース : Mobility as a Service）とは

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

花巻市の公共交通の課題を探る 産業建設常任委員会簡単ワークショップ

A班（伊藤委員長、久保田委員、伊藤（忠）委員、内舘委員）

R6.4.26 15:00～

順位	課題	理由	備考
1	路線バスの運行が利用者ニーズに合っていない	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の少ないバス路線は廃止、変更を検討してはどうか。 ・J R利用を推進するように大迫～石鳥谷便バスを充実させてはどうか。 ・路線バスの運航時刻と利用者のマッチング。 ・路線バス利用減している要因は何か、分析が弱かったのでは。 ・路線バス利用者を増やすためには、高校生に利用してもらう仕組みづくりが必要。 ・バス路線に便数の不足。大迫～石鳥谷線大迫高校生利用増。 	4票
2	交通事業者との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地への対策について、タクシー事業者と真剣な議論が必要ではないか。 ・タクシー事業者と行政が情報交換・共有の機会が薄いようだ。 ・地域における公共交通の在り方について、地域主体で検討されてこなかった。 	3票
2	J R釜石線の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・J R釜石線の利用促進。 ・J R釜石線の利用推進に向けて、広域連携が必要。 	3票
	循環バスの運行エリア拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・居住区域に隣接する住宅地への循環バスの運行。 	1票
	タクシー運転手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの運転手が確保できない。 ・タクシー事業者の大きな課題は運転手確保。 	0票
	(タイトル決まらず)	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の利用者のマッチング（10月から導入地域）。 ・予約乗合バス1回の運行で1人しか乗らないときがある。 ・利用者の声を聞いているか。 ・地域の事情にあっていないデマンド交通になっている（運行コース、目的地まで時間がかかる）。 ・交通空白地域湯口、湯本、宮野目、矢沢が人口比率50%以上になっている（空白地域の公共交通空白地の人口がその地域の人口の50%を超えている） 	0票

花巻市の公共交通の課題を探る 産業建設常任委員会簡単ワークショップ

B班（若柳副委員長、藤根委員、横田委員、菅原委員）

R6.4.26 15:00～

順位	課題	理由	備考
1	交通事業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県交通バスへの助成金。 ・ タクシー事業者の経営状況。 ・ 運転手の確保。 ・ 運転手不足。 	4票
1	運行の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者との定期的協議。 ・ デマンドエリアを越えられない。 ・ 古田から乗り合いを使う場合、土沢に出ても釜石線、バス時間と合わない。 ・ 過疎地の交通の足の確保（東和、大迫等々）。 ・ 乗り合いの週末時の運行について。 ・ 内川目、外川目、亀ヶ森地区のタクシー利用者の声を聞き、対応を検討していただきたい。 ・ 大迫～医大、日赤、盛岡へのバス利用者少ない。PRする必要がある。 ・ 大迫～中部病院へのバスは利用者が少ない。利用者の声を聞き、減便あるいは廃止し、大迫～石鳥谷間の便を増便すること。 	4票
3	利用者不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が少ない。 	3票
	○ 愛称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り合いの呼び方について 	1票

花巻市の公共交通の課題を探る 産業建設常任委員会簡単ワークショップ（2回目）

A班（伊藤委員長、久保田委員、伊藤（忠）委員、内館委員）

R6.5.10 10:00～

課 題	解 決 策	具体的な取り組み	少数意見
◇ 路線バスの運行が利用者ニーズに合っていない	・利用者からアンケートを取る	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層別のニーズをアンケートしてまとめる ・路線バスの利用について利用者のニーズを地域自ら持っていく ・バス利用者へのアンケート調査を行いニーズに合った運行を検討する ・一家に複数回答のアンケートを実施 ・実際にバスを利用している人のニーズを確認する ・県交通の事情を路線別に確認する ・路線バスは地域住民とのダイヤを含めた話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日1便で利用者がいない路線は廃止する
	・高校生の通学を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生へ通学利用を呼び掛ける ・高校生の利用促進に向けて高校生の声を聞き、協力できる高校生は何を望んでいるか探る 	
◇ 交通事業者との情報交換	・行政と交通事業者との意見交換を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業者との建設的な懇談の場を設定し、情報交換情報共有に努める ・年2回程度意見交換会を開催し、現状と課題を共有する ・タック紙一業者の現況を確認する ・バスに替わる公共交通としてタクシーは大切であるがタクシー業界との話し合いを重視する 	
	・交通事業者と地域住民の意見交換	・タクシー事業者と飲食業組合や住民との懇談の場を設ける。行政は懇談の場の設営支援	
	・互助輸送の検討	・路線バス、デマンド困難地域での互助輸送導入に向けて、地域と話し合う（行政は支援する）	

◇ JR 釜石線 の利用促進	・広域連携の7キャンペーンを展開する	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回わざわざ利用デーを沿線市町村で設ける ・お試し無料チケットを配布する。負担は県と市町 ・快速ダイヤを土日のイベントに合わせて停車駅を設定する ・広域連携のキャンペーンを全国に向けてPR ・沿線で広域連携しイベントを展開する・沿線市町でイベントを企画し誘客（利用促進）を図る 	
	・遠足に活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で釜石線利用を遠足に取り入れる 	
	・三鉄の取り組みに学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例として三鉄の取り組みと沿線地域とのかかわりを学ぶ ・三陸鉄道との連携した県全体の取り組み 	

花巻市の公共交通の課題を探る 産業建設常任委員会簡単ワークショップ（2回目）

B班（若柳副委員長、藤根委員、横田委員、菅原委員）

R6.5.10 10:00～

課 題	解 決 策	具体的な取り組み	少数意見
◇ 交通事業者への支援	・金銭的な助成	・二種免許取得助成 ・乗務員の募集や住居を支援する ・自治体が車両をリースし支援する	
	・助成金の見直し	・バス、タクシー事業者・利用者・行政側それぞれお互いに協議する場が必要（定期的に）	
	・イメージを変える	・運転手に対するイメージを良くする（運転手さんの無料体験、練習）	
◇ 運行の検討	・新システムの導入	・M a a Sの導入検討（アプリで一括連携）	
	・分野を分けて運行する	・バス、タクシーの運転手の確保は困難。利用者ニーズに合わせずみ分けする（運行内容）	
	・声を聞くこと	・利用者を含めた定期協議（地域別） ・内川目、外川目、亀ヶ森地区ごとにデマンド利用者の声を聞く	
	・デマンドの見直し	・デマンドエリアの拡大（利用者ニーズに応え利用拡大） ・デマンドエリアの見直し（大迫～石鳥谷 大迫～花巻） ・タクシー業界との規制があるかもしれないが、エリアを越えた運行もあってもよい ・病院のため、デマンドを利用する方には中央（土沢）に出るときのつながりが間に合うように	

◇ 利用者不足	・利用者の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の日を設定 ・公共交通について行政や議員も利用できる日や利用する日を決めて乗るよう心掛ける 	
	・拡大の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・大迫～中部病院利用者から声を聞き対応策を検討する ・地域ごとの予約乗合交通路線マップを戸別配布 ・各コミュニティ会議で公共交通の研修会を開催 ・65歳以上の高齢者に予約乗合交通への登録化 	

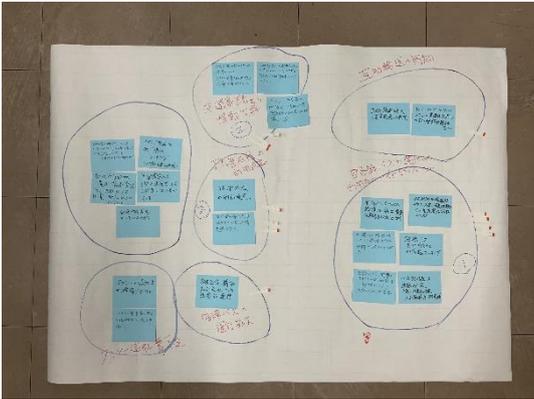
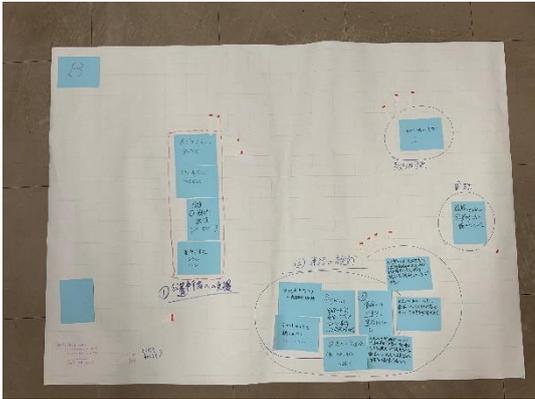
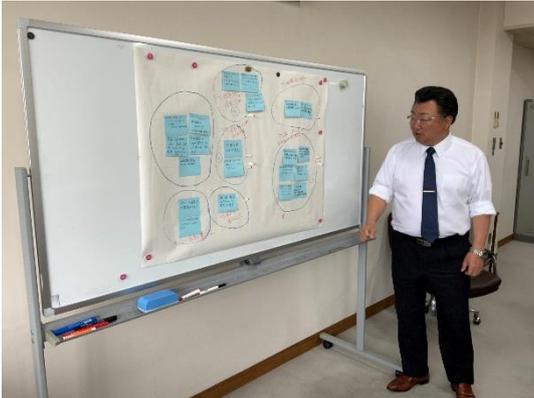
富山県射水市への行政視察（令和5年7月21日）



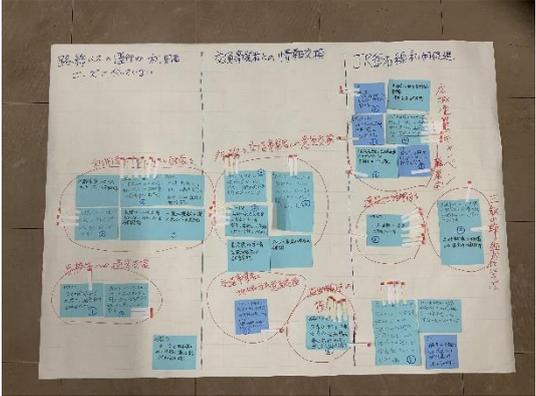
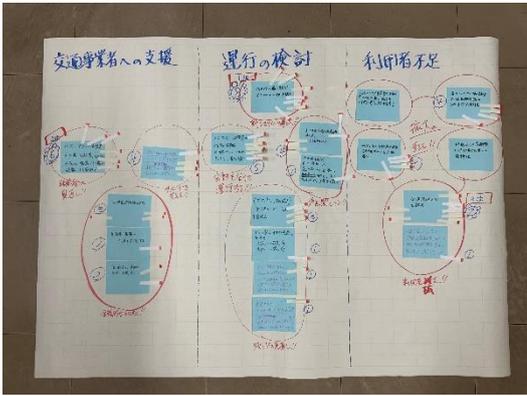
花巻地区タクシー業協同組合の役員との意見交換（令和6年4月3日）



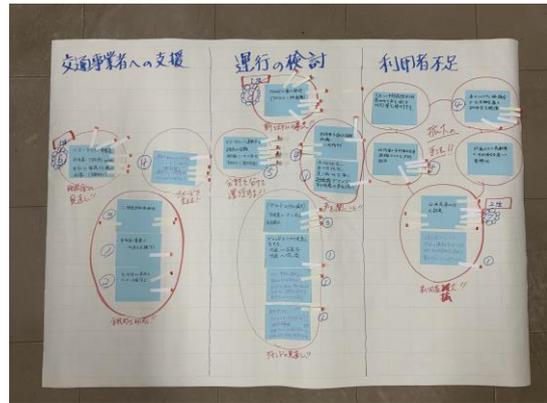
ワークショップにより公共交通の現状と課題を共有（令和6年4月26日）

	A班	B班
作業風景		
結果		
発表		

ワークショップにより課題の解決策を探る（令和6年5月10日）

	A班	B班
作業風景		
結果		
発表		

ワークショップにより解決策の共有と具体的事業を探る（令和6年5月21日）



担当部局と政策提言書について協議（令和6年6月7日）

